

検 定 意 見 書

12 枚中 1 枚目

受理番号 102-211		学校 高等学校		教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 表見返 ③	上左	小学校の「保健体育」	不正確である。 (教科名)	3-(1)	
2	3	下	ピクチャースタディ：…写真で構成したページです。	不正確である。 (写真の無いページがある)	3-(1)	
3	4	中左	体力トレーニングの紹介…152 及び、152ページ上「体力トレーニング紹介」	表記が不統一である。	3-(4)	
4	7	2 － 3	肥満・高血圧・糖尿病・脂質異常症 他 同ページ9行目 肺がん・大腸がん・乳がん・すい臓がん，同ページ10-11行目 気管支ぜんそく・花粉症・湿疹，11ページ側注② エボラ出血	表記が不統一である。 (7ページ12-13行目 筋・骨格系の疾患，骨粗しょう症，認知症 に照らして)	3-(4)	
			熱・腸管出血性大腸菌感染症・鳥インフルエンザ・ウエストナイル熱，20ページ2行目 高血圧・肥満症・糖尿病			
5	8	9 － 11	その基礎になるのが健康であり，積極的に健康を保持増進する行動をヘルスプロモーションといいます。 及び118ページ 用語解説：ヘルスプロモーション（全体）	相互に矛盾している。	3-(1)	
			他 9ページ8-9行目「このようにヘルスプロモーションは，生活環境と社会環境のなかで，健康を保持増進していく行動なのです（図2）。」			
6	8	下段右	健康づくりのための具体的な行動とは： 2 有酸素運動と筋力運動を続けよう	生徒にとって理解し難い表現である。 (「筋力運動」)	3-(3)	
7	9	上囲み	5-7行目：「元陸上長距離ランナーの金哲彦さんも・・・・・・10年たってフルマラソンを完走し」	不正確である。	3-(1)	
8	11	上囲み	はしかの流行と予防接種の関係（全体）	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

12 枚中 2 枚目

受理番号 102-211		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
9	13	上段左 囲み	B君の発言：「インフルエンザの感染経路である飛沫感染や空気感染を調べていたら、結核も同じ感染経路の病気と書かれていました。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「同じ感染経路」の意味について）	3-(3)
10	13	上段右 囲み	先生の発言：「結核のような再興感染症がほかにもあるか調べてみましょう。」 Aさんの発言：「・・・黄色ブドウ球菌感染症などがありました。」	不正確である。 （Aさんの発言）	3-(1)
11	14	図1	日本の主な性感染症の推移	不正確である。	3-(1)
12	15	図3	世界のHIV感染状況	不正確である。 （「年間死亡者数」及び「2017年新規感染者数」の数値）	3-(1)
13	17	8 - 11	一次予防は・・・発病を予防するものです。生活習慣病を改善するには、食生活を見直す、運動習慣を身につける・・・などの生活習慣の実践が大切です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （一次予防に、「生活習慣病の改善」が含まれるかのように）	3-(3)
14	19	11	直接の原因の一つに	誤りである。	3-(1)
15	21	下囲み	精神的疲労には音楽や積極的休養がよい。及び 同ページ3-4行目：「一方、精神的疲労を感じる人には好きな音楽を聴く、スポーツで体を動かす積極的休養がよく」	相互に矛盾している。	3-(1)
16	22 - 23		4 がんの発生と予防（全体）	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 （保健（1）ア（ウ）：「社会的な対策が必要であること」に照らして）	2-(1)
17	22	側注①	緩和ケア：「治療ができなくなった末期患者が受けるものではなく、がん治療の初期段階から取り組むものである。」及び 119ページ用語解説：緩和ケア（全体）	相互に矛盾している。	3-(1)
			他 25ページ下段 緩和ケア：「緩和ケアとは、治療末期に限らず、早期から提供されるケアであり」		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

12 枚中 3 枚目

受理番号 102-211		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
18	23	図3	主要がんと生活習慣要因との関連：受動喫煙，糖尿病，コーヒー	不正確である。 (原典と異なる)	3-(1)
19	27	上囲み	禁煙で余命はのびる：「70歳時点で35歳からの生存率は，たばこを吸わない人が81%なのに対し，吸う人は58%であり，たばこを吸うだけで生存率が23%も下がっている。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「70歳時点で35歳からの生存率は」)	3-(3)
20	27	14	未成年者喫煙禁止法 他 174ページさくいん	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (法律改正の状況について)	3-(3)
21	29	上囲み	「しかし，最近の研究によると，たとえ少量でも飲酒を続けると・・・食道・大腸・肝臓・乳房などのがんの発生リスクを高めることがわかってきた。」	不正確である。	3-(1)
22	29	9	未成年者飲酒禁止法 他 同ページ側注③，174ページさくいん	不正確である。 (未成年)	3-(1)
23	33	1 - 21	2 薬物乱用を防止するために・・・違法な薬物の売人は・・・言葉で断るのが難しいのならば，その場から立ち去ることです。	生徒にとって理解し難い表現である。 (薬物の流通の現状について)	3-(3)
24	33	図3	薬物乱用者が薬物を始めたきっかけ（2010年，厚生労働省資料ほか）	図は，最新のものをを用いておらず，学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)
25	36	図2	タイトル「脳幹から脊髄へのつながり」	生徒にとって理解し難い表現である。 (イラストとの対応関係について)	3-(3)
26	37	側注②	脳下垂体「頭の中心部にあり・・・性ホルモン・・・など全身のホルモンの中枢センターになる。」	不正確である。	3-(1)
27	37	15 - 16	このように，私たちの体は自律神経系とホルモンによるフィードバック機構によって，自然に調節されています（図4）	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文と図4の対応関係について)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

12 枚中 4 枚目

受理番号 102-211		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
28	37	下囲み	脳は脳幹から脊髄を介して全身につながっており、記憶・感情・運動などを調節している。	不正確である。 (36ページ「1 脳の働き（全体）」の内容に照らして)	3-(1)
29	37	下囲み	心臓や内臓などの働きは自律神経系、体はホルモンによるフィードバック機構で調節されている。	不正確である。 (37ページ「2 体を調整する機能（全体）」の内容に照らして)	3-(1)
30	41	図3	国際疾病分類にもとづく精神疾患の主な種類（WHO，第11版）（全体）	不正確である。	3-(1)
31	42	図1	説明文：大脳縁辺系	誤りである。	3-(1)
32	44 - 45		依存症：「依存症には「物質への依存」「プロセスへの依存」と「人間関係への依存」という3つの種類がある。 ・・・人間関係への依存とは・・・ ・・・3つの種類に共通していること	生徒にとって理解し難い表現である。 (41ページ図3に示す分類と異なる)	3-(3)
			は・・・ことである。」		
33	48	3 - 4	現在，10代の若者の死亡原因の約15%が交通事故であり	不正確である。	3-(1)
34	48	12	自動車には運転手に見えない死角があります（図1） 及び 図1自転車と自動車の接触事故例<事故状況>	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (図1は「車両的要因」の例示ではない)	3-(3)
35	50	9 - 16	地震や風水害の・・・・・・社会の安全確保は困難です（図1）。	生徒にとって理解し難い表現である。 (災害時の協力について)	3-(3)
36	50	23 - 24	また，直接の罰則規定のなかったあおり運転②に対する法律の改正も，検討が始まっています。	不正確である。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

12 枚中 5 枚目

受理番号 102-211		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
37	51	図2	特別警報のイメージ（気象庁資料）	図は、最新のものを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)
38	52	1 - 15	1 応急手当とAEDの効果（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （社会の救急体制について）	3-(3)
39	57	図6	出典名：環境省「熱中症環境保護マニュアル」	誤りである。	3-(1)
40	58	左下段 囲み	B君の発言：次に反応の確認をします。 反応のない場合・・・・・・一緒に 応急手当を手伝ってくれる人を指示 します。	生徒にとって理解し難い表現である。 （52-53ページの説明「1 適切な応急手当の手順」 と異なる）	3-(3)
41	59	中段	①三角巾（傷口の保護・止血用）	生徒にとって理解し難い表現である。 （写真が無い）	3-(3)
42	61	下段	熱中症予防のための運動指針（全体）	不正確である。 （最新でない）	3-(1)
43	61	下段	輻射熱のルビ	誤記である。 （漢字とルビが重なっている）	3-(2)
44	65	図2	高校生の性情報の入手源（日本性教育 学会「第7回青少年の性行動全国調査 ，2011年）	図は、最新のものを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)
45	65	図2	高校生の性情報の入手源（日本性教育 学会「第7回青少年の性行動全国調査 ，2011年）	誤りである。 （出典元：日本性教育学会 及び 括弧）	3-(1)
46	69	図3	2010年：児童虐待相談対応件数 5.5	不正確である。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

12 枚中 6 枚目

受理番号 102-211		学校 高等学校		教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
47	69	図4	夫婦の愛情を育む場：男性 30.0	不正確である。	3-(1)	
48	72	図3	不妊治療による年齢別妊娠・生産・流産率（日本産科婦人科学会資料，2017年）	不正確である。	3-(1)	
49	73	16 － 17	人工授精・体外受精などがおこなわれており（図4），こうした生殖補助医療技術の発達	不正確である。 （「生殖補助医療」と「人工授精」の関係について）	3-(1)	
50	77	2 － 3	75歳以上の後期高齢者も8人に1人という本格的な高齢社会	不正確である。 （数値）	3-(1)	
51	80	14	高血圧症	表記が不統一である。 （118ページ用語解説「高血圧」に照らして）	3-(4)	
52	82	4 － 5	THP（トータル・ヘルスマーション・プラン）	誤りである。	3-(1)	
53	83	図2	「働き方改革」で改正された「時間外労働の上限規制」（厚生労働省資料より作成）	不正確である。 （「例外」の説明が，原典と異なる）	3-(1)	
54	97	3	使用後の生活排水やし尿 他 同ページ10行目 し尿や洗濯・炊事の生活排水	不正確である。	3-(1)	
55	100	5 － 8	食品の安全を守るため，食品には産地，原材料名・・・・・・・・表示が義務づけられています。	不正確である。	3-(1)	
56	101	10	HACCP（危害分析・重要管理点）	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

12 枚中 7 枚目

受理番号 102-211		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
57	103	上囲み	「現在、脳死後の臓器提供者数は、アメリカでは年間8,000～9,000人」	不正確である。	3-(1)
58	107	上段左囲み	先生の発言：「2010年の法改正」，「20年間で、約480名のドナー」	相互に矛盾している。 (103ページ上囲みの内容に照らして)	3-(1)
59	107	中段右囲み	先生の発言：「移植を受けることができるのは2%，年間約400人です。」	不正確である。	3-(1)
60	109	下囲み	薬に依存しすぎないことが大切である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (32ページの「薬物依存」の用語使用に照らして)	3-(3)
61	114	上段	SDGs と保健衛生・環境保全活動のイラスト	不正確である。 (最新でない)	3-(1)
62	114	上段	https://www.un.org/sustainabledevelopment/	学習上の参考に供する情報を参照させるウェブページのアドレスは、発行者が管理するものでない。	2-(18)
63	118	左列	脂質異常症（全体）	不正確である。 (診断基準が改訂されている)	3-(1)
64	118	右列	生活の質（QOL）：「治療効果が高く，副作用の大きい治療を選ぶか，または副作用が少なく，体にやさしい治療を選ぶかといった選択の際にも」	生徒にとって理解し難い表現である。 (一般的な説明と異なる)	3-(3)
65	119	左列	メタボリックシンドローム：脂肪型肥満（腹囲にて計測）	脱字である。	3-(2)
66	120	右列	危険運転致死傷罪：「危険運転を6つのケースに分類している・・・・・・・・・が適用される。」	不正確である。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

12 枚中 8 枚目

受理番号 102-211		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
67	121	左列	胎盤：「小腸内壁にある柔毛を介して，母体血液からの酸素や栄養を運搬し，胎児の発育を助ける。また胎児の老廃物を排せつする。」	誤りである。	3-(1)
68	121	左列	妊娠高血圧症候群（全体）	不正確である。 （診断基準が改訂されている）	3-(1)
69	121	左列	母体保護法：「なお，旧優生保護法では，かつて遺伝性疾患や精神疾患を理由とした不妊，中絶手術を」	不正確である。	3-(1)
70	124 - 125	1 - 12	1 スポーツの起源と変遷（全体）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （現代のスポーツが「競技スポーツ」だけであるように誤解）	3-(3)
71	124	11	紀元前8紀ごろ	誤記である。	3-(2)
72	124	図1	古代オリンピックの主な競技：競争	誤記である。	3-(2)
73	125	18	現在では，フランスの競技人口は日本の4倍にもなっています。	不正確である。	3-(1)
74	127	13 - 15	下半身にまひのある車いす使用者だけでなく，すべての身体に障害のある者を対象として	生徒にとって理解し難い表現である。 （すべての身体に障害のある者）	3-(3)
75	128	側注①	ドーピング：南アフリカのカフィール族が，…ドップ（dop）という強い刺激物を飲んだことに由来する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （一説に過ぎないものを定説と誤解）	3-(3)
76	128	図1	ドーピング禁止表（一部抜粋）（「世界ドーピング防止規程」2019年）及び，側注②「世界ドーピング防止規程」	不正確である。 （名称）	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

12 枚中 9 枚目

受理番号 102-211		学校 高等学校		教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
77	128	図1	ベータ2作用薬（気管拡張作用がある）	不正確である。 （気管）	3-(1)	
78	128	図2	ドーピングがもたらす健康被害：女性化乳房	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
79	129	20 － 23	重要なのは、…何もかもが許される状況で、スポーツは多くの人々に夢や感動を与えることができるのかということ、…見つめ直すことです。	生徒にとって理解し難い表現である。 （何もかもが許される状況）	3-(3)	
80	130	図1	スポーツ産業の発展（「スポーツ産業論入門」をもとに作成）	不正確である。 （「スポーツ産業論入門」をもとに）	3-(1)	
81	136	中左	高速水着で多くの新記録が出た北京オリンピックの水泳競技（2008年）：水中で抵抗力が軽減された素材を使い、17の世界新記録が誕生し、金メダリストの90%以上が着用した。	不正確である。	3-(1)	
82	138 － 139		①運動場面で異なるさまざまな運動技術（全体）	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 （「体育（2）ア（イ）：「メディアの発達」に照らして）	2-(1)	
83	140	15 － 16	フィードバック情報や映像によって動作の修正ができ	生徒にとって理解し難い表現である。 （フィードバック情報や映像）	3-(3)	
84	141	2	動作が自動化 及び、140ページ上キーワード：動作の自動化 及び、170ページ下左「動作の自動化」「動作が自動化した」	表記が不統一である。	3-(4)	
85	141	2 － 3	動作の選択・正確性・強さ・速さが増し、動きがスムーズになります。	生徒にとって理解し難い表現である。 （動作の選択…が増し）	3-(3)	
86	142 － 143		③運動課題の発見と解決（全体）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （内容が競技スポーツに偏り、健康・レジャー志向のスポーツを含まないものと誤解）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

12 枚中 10 枚目

受理番号 102-211		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
87	142	21 - 23	自分の動作と理想的イメージとの違いを比較し、練習に活用する（自己観察）。	生徒にとって理解し難い表現である。（違いを比較）	3-(3)
88	144	7 - 17	体力は、環境に対して積極的に行動する能力（行動体力）…からなります（図1）。活動の基盤となる行動体力は…などの要素からなります。…体力は一般に、行動体力を構成する体力要素	生徒にとって理解し難い表現及び図である。（行動体力の要素にかなりの不一致がみられる。）	3-(3)
			ごとに測定され、総合評価されます（体力プロフィール、図2）。スポーツ種目によっては、特定の体力要素がとくに重要となります（図3）。及び、図1体力の構成要素：上段（「		
			行動体力」の要素）及び、図2体力プロフィールの例（全体）及び、145ページ図3の「とくに重要な体力要素」の内容		
89	145	上右囲み	スポーツ栄養：このとき、栄養に関して…といったアドバイスすることを「スポーツ栄養」という。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
90	148	側注②	クーリング・ダウン：競技スポーツの場合、…それによって、筋に蓄積した乳酸を減らすことができる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。（競技スポーツに限っている点。「乳酸＝疲労物質」という古い見方に立脚し、乳酸を減らすことがクーリング・ダウンの目的であるように読める点。）	3-(3)
91	149	15 - 20	運動中、大量の汗をかき、…。また、運動中の過度の脱水によって…補給するようにしましょう（図1）。及び、図1「次期オリンピック東京大会での主な暑さ対策」（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。（本文の内容と図の内容とが整合していない。）	3-(3)
92	149	上囲み	オーバートレーニングとは：右図「オーバートレーニングによる体力の変化」（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。（「水準体力」「体力水準」）	3-(3)
93	152	下左	アイソキネティック・トレーニング：一定のスピード以上でも以下でも動かないマシン	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
94	154	上	体力は、20歳代をピークに、成長とともに向上します。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

12 枚中 11 枚目

受理番号 102-211		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
95	154	中右	「B君の新体力テストの結果と平均値との比較」の図（全体）	生徒にとって理解し難い図である。 （新体力テストからこの図は描けない。）	3-(3)
96	157	1	健康状態に合った運動・スポーツ及び、171ページ中左「健康状態に合った運動やスポーツ」	表記が不統一である。	3-(4)
97	157	20	スポーツ活動を支える及び、156ページ上キーワード「スポーツをする、みる、支える、知る」及び、157ページ9行「スポーツをする」；16行「スポーツをみる」；24行「	表記が不統一である。	3-(4)
			スポーツを知る」		
98	160	下左	トップス広島のパレーボール学校：NP0法人広島トップススポーツクラブネットワーク（トップス広島）は、広島に拠点をおく、プロ野球・プロサッカー・パレーボール・ハンドボール・陸	不正確である。 （連携するチームのリスト）	3-(1)
			上競技・バドミントン・ソフトテニス・ホッケーのチームが連携して		
99	162	上	キーワード：「環境にやさしい」スポーツ及び、9-10行「環境にやさしい」を合言葉に	表記が不統一である。	3-(4)
100	162	図1	野球ひじの起こるしくみ：スポーツ障害[解 p. 162]	誤記である。 (p. 162)	3-(2)
101	163	12 - 16	自分の特徴を次の①～④の観点から分析し、自己理解を深めましょう（図2）。①…②…③…④個人の生活様式（まわりの理解・自由時間など）とスポーツ環境	生徒にとって理解し難い表現である。 （本文と「図」2との間で観点／項目が合っていない。）	3-(3)
			及び、162ページ図2自己理解表（全体）		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

12 枚中 12 枚目

受理番号 102-211		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
102	169	下右	●オリンピック・パラリンピックの「レガシー」：国際オリンピック委員会（IOC）によると、レガシーとは「長期にわたる、特にポジティブな影響」とされ	不正確である。 (引用として)	3-(1)
103	170	下右	●レジスタンストレーニング：トレーニングの効果は、負荷の強度、スピード、回数、頻度に影響される。一般に、高強度（重い重量）のトレーニングで最大筋力、中強度で筋パワー、低負	生徒にとって理解し難い表現である。 (負荷、強度、回数、時間、重量などの用語が整理されていない。)	3-(3)
			荷で長時間おこなうと筋持久力が改善される。		
104	下巻9	写真	手の部分	生徒にとって理解し難い写真である。 (本冊54ページ図1の説明と異なる)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 1 枚目

受理番号 102-212		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	表見返し1	左列	呼吸器系イラストのキャプション：「気道には、鼻腔・咽頭・気管・気管支が含まれる。」	不正確である。	3-(1)
2	表見返し1	右列	循環器系イラスト：上大静脈，上行大動脈	不正確である。 (引き込み線が指す位置)	3-(1)
3	表見返し3	右列	生殖器系：子宮	不正確である。 (引き込み線が指す位置)	3-(1)
4	表見返し5	上段右	①喫煙による皮膚温の変化（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 (写真下部の色帯について説明不足)	3-(3)
5	表見返し7	中段写真	⑦心肺蘇生法講習会	生徒にとって理解し難い写真である。 (72ページ資料2に示す胸骨圧迫の方法と異なる)	3-(3)
6	表見返し7	下段	⑨持続可能な開発目標（SDGs）のイラスト	不正確である。 (最新でない)	3-(1)
7	10	全体	特設①健康のとらえ方の歴史を振り返ってみよう	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)
8	13	資料3	タイトル：健康診断でわかること	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (表の検査項目が全てであると)	3-(3)
9	14	資料1	胃がん：「胃の壁を硬く厚くさせながら広がっていくタイプ（スキルス胃がん）もある。男性に多く，50歳ころから増加する。」	不正確である。 (スキルス胃がんの一般的な説明と異なる)	3-(1)
10	15	資料3	キャプション：「早期であれば，9割が治る。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (表の数字（肺）と異なる)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 2 枚目

受理番号 102-212		学校 高等学校		教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
11	15	資料4	国がすすめるがん検診：子宮がん検診	不正確である。 （子宮体がん検診は含まれない）	3-（1）	
12	16	資料1	内視鏡（小型カメラや手術器具）	不正確である。 （内視鏡の説明として）	3-（1）	
13	17	5 － 6	がん診療拠点病院	不正確である。	3-（1）	
14	19	全体	特設④がんとともに生きる人々を支える取り組み	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-（17）	
15	21	右下	高校生は保健体育の授業などで、50分の運動が週に3回確保されている。	不正確である。	3-（1）	
16	22	資料2	カルシウム：男性804mg/日，女性673mg/日	不正確である。	3-（1）	
17	29	11	未成年者喫煙禁止法 他 206ページさくいん	不正確である。 （未成年）	3-（1）	
18	29	資料3	③「健康日本21」開始（2002, 日本）	不正確である。 （2002）	3-（1）	
19	31	12	未成年者飲酒禁止法 他 同ページ13行目「未成年者の飲酒」，206ページさくいん	不正確である。 （未成年）	3-（1）	
20	31	資料2	酒の広告への各国の対策：日本；未成年者	不正確である。 （変更されている）	3-（1）	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 3 枚目

受理番号 102-212		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
21	39	5 - 7	自分だけは大丈夫，自分にかぎって心が弱いなんてありえない，といった内在する偏見⑤が，相談や援助を求める行動の開始を遅らせることになります。及び 同ページ側注⑤	生徒にとって理解し難い表現である。 （「内在する偏見」）	3-(3)
22	42	1 - 2	ストレスや不安を上手に向き合う	誤りである。	3-(1)
23	43	全体	特設⑩うつ病からの回復をたどってみよう	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)
24	43	下段左	急に恐くなりました	誤りである。	3-(1)
25	46	2 - 4	1 感染源対策・・・・・・また大流行の際には，入院や学級閉鎖といった措置によって感染者との接触を避けることも法律で定められています資料1。及び 資料1 感染症予防の3つの対策：感染源対策；「学級閉鎖」及びそのイラスト	生徒が誤解するおそれのある表現及び図である。 （「学級閉鎖」の分類について）	3-(3)
26	46	側注①	換気によって，病原菌の数を減らすことができる。	生徒にとって理解し難い表現である。 （病原菌だけではない）	3-(3)
27	46	17 - 18	必要な予防接種と免疫があるかどうかを調べる抗体検査の記録は，母子健康手帳の接種歴で確認することができます資料2。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （母子健康手帳に，子供の抗体検査の記録欄があるかのように）	3-(3)
28	52	側注②	セルフエスティーム：self esteem	脱字である。	3-(2)
29	52	資料1	周囲が禁煙したときの喫煙リスクの低下（全体）	生徒にとって理解し難い表現及び図である。 （「喫煙リスク」の意味について）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 4 枚目

受理番号 102-212		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
30	54	資料1	説明文：「アルゼンチンでの・・・ ・・・と比較して、心筋梗塞の入院患者数が約13%減少した。」	不正確である。	3-(1)
31	61	側注⑥	道路交通法には、車間距離をつめたり、急ブレーキをかけたりする「あおり運転」を直接取り締まる規定がなく、法整備の必要性が議論されている。	不正確である。	3-(1)
32	61	側注⑦	独立行政法人国民健康センター	誤りである。	3-(1)
33	64	側注③	「ブレーキをかけてから停止するまでの距離。」	誤りである。 (制動距離の説明として)	3-(1)
34	65	下囲み	事例：母子2人が死亡、10人が重軽傷	不正確である。 (10人)	3-(1)
35	72 - 73	資料1	キャプション：「AEDの指示に従い心肺蘇生法を継続する」	不正確である。 (同ページ資料5の説明と異なる)	3-(1)
36	79	資料3	不安定な心理状態についてたずねた結果：「ときどきある」及び「たまにある」	不正確である。 (色分けが入れ替わっている)	3-(1)
37	81	資料3	性交についての情報源	不正確である。 (高校生のデータではない)	3-(1)
38	81	資料4	避妊方法についての情報源	不正確である。 (高校生のデータではない)	3-(1)
39	89	資料2	親の食習慣と子どもの食習慣との関係	グラフは、通常の方法に従って記載されていない。 (グラフの横軸)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 5 枚目

受理番号 102-212		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
40	90	中段写真	キャプション：「中野陽子さん 70歳からマラソンを始め、80歳でフルマラソンを完走した。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (80歳で初めてフルマラソンを完走したかのように)	3-(3)
41	98	全体	特設③仕事を健康の視点から考えてみよう	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)
42	98	中段	国においては2017年から「安全衛生優良企業公表制度」を立ち上げ	不正確である。	3-(1)
43	103	11 - 13	このように環境汚染は・・・直接的に、あるいは食物などを通して、私たちの健康に影響を及ぼします。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (環境汚染が必ず健康に影響を及ぼすかのように)	3-(3)
44	109	全体	特設②海洋プラスチックごみについて考えてみよう	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)
45	112	側注①	「危害分析重要管理点」	不正確である。	3-(1)
46	116	資料1	後期高齢者健康診査のイラスト	生徒が誤解するおそれのある図である。 (後期高齢者の年齢について)	3-(3)
47	123	全体	特設⑥サリドマイド薬害に学ぶ	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)
48	131	左列	メタボリックシンドローム：「動脈硬化を起しやすくする要因である高血圧、喫煙、糖尿病、脂質異常症などが複数重なった場合には、脳卒中や心臓病になる危険がいつそう高まることが	不正確である。	3-(1)
			知られており、メタボリックシンドロームと命名された。」		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 6 枚目

受理番号 102-212		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
49	131	右列	健康増進法：「また、学校、病院、行政機関などにおいては、屋外を含めた施設内が完全に禁煙となり、原則として喫煙室の設備も設けることができなくなった。」	不正確である。	3-(1)
50	134	右列	日本赤十字社：「世界191の国と地域にある」，「幕末の西南戦争（1877年）」	不正確である。	3-(1)
51	137	側注④	聖書では女性がズボンををはくことを許していなかった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)
52	146		オリンピックの課題（全体） 及び、147ページ：パラリンピックの課題（全体）	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)
53	147	資料1	「スペシャルオリンピックス」の「備考」：日常的な地域活動では、健常者が同一チームに混ざりあう形で球技をおこなうユニファイドスポーツというシステムを設定している。	不正確である。 （「日常的な地域活動」「球技」）	3-(1)
54	152		スポーツの価値について考えてみよう（全体）	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)
55	152	資料2	生きる力を与えるスポーツ（タイトル）	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
56	153	中左	世界アンチ・ドーピング機構（WADA）が発行している「世界アンチ・ドーピング規程」に…「競技者の尿や血液といった検体に、禁止物質などが存在すること」という説明があります。	不正確である。 （引用として）	3-(1)
57	153	下左	WADAの報告によれば、2016年度のドーピング陽性は、…という結果でした。このうち、…現在も継続して確認中のものは、おおよそ700件となっています。なお、日本では、2018年度に確定	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （毎年更新される情報について、やや古い情報を「現在」の状況を表すものと誤解）	3-(3)
			したドーピング違反件数は、6件という結果でした。		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 7 枚目

受理番号 102-212		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
58	153	上右	2020年開催のオリンピック東京大会及び、190ページ2-4行「2020年に東京で、…夏季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。」；資料1「おもなスポーツ推進の歩み」；	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (オリンピック・パラリンピック東京大会の開催年について)	3-(3)
			2020年 オリンピック・パラリンピック東京大会の開催(予定)及び、191ページ下右「調べてみよう」：2020年に開催される夏季オリンピック・パラリンピック東京大会		
59	153	上右	身の潔白を証明した一部のロシア人選手を除き、ロシア選手団としては大会に参加できないようになりました。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ロシア選手団として大会に参加できる人がいた／いるかのように誤解)	3-(3)
60	155	9 - 11	国際オリンピック委員会(IOC)では「スポーツと環境委員会」を設けて、スポーツ、文化と並んで、環境をオリンピックの3本の柱とみなし、環境問題に積極的に取り組んでいます。	不正確である。 (スポーツと環境委員会、オリンピック)	3-(1)
61	158	8 - 9	サイバネティックス的体力▼及び、197ページ下左「サイバネティックス」	表記が不統一である。	3-(4)
62	167	上左	オーバーナンバーのゲーム	生徒にとって理解し難い表現である。 (オーバーナンバー)	3-(3)
63	168 - 169	1 - 3	1 動きの開始と持続(全体)	生徒にとって理解し難い表現及び図である。 (説明が無い：筋細胞内に貯蔵されているクレアチンリン酸やグリコーゲン、遊離脂肪酸等)	3-(3)
64	168	7 - 8	細胞呼吸によって合成されるATP(アデノシン三リン酸)及び、側注③「ATP合成」；資料1「ATP生成」；19行「ATPを持続的に生成」	表記が不統一である。 (「合成」と「生成」)	3-(4)
65	168	17 - 18	血液によって運ばれてくるグルコース(ブドウ糖)や脂肪(遊離脂肪酸)、乳酸及び、資料1「脂肪」	不正確である。 (脂肪)	3-(1)
66	169	側注⑪	よい動きは、よい知覚をもたらす。よい知覚を身につけるには、能動的に動くことが必要になる。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 8 枚目

受理番号 102-212		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
67	170	上右	動物の脳・神経系はすばやい運動をおこなうために進化しました。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ために)	3-(3)
68	176	11 - 13	環境条件に潜む危険 運動・スポーツがおこなわれる際の気象条件…にも注意を払い、けがや事故の危険を想定しておく必要があります(資料2)。及び、資料2:おもに環境条件などが	表記が不統一である。 (「環境条件」と「気象条件」)	3-(4)
			要因となって起こるけがや事故		
69	178		スポーツによるさまざまなリスクを考えてみよう(全体) 及び、179ページ:スポーツ外傷・障害とその原因(全体)	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)
70	178	中右	ケース②の「リスクの例」:膝の伸びるしくみに過度な牽引力が繰り返し加わっていたところ、思い切りジャンプしたことで、膝周辺の腱に損傷が起こる(スポーツ障害:ジャンパー膝)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「膝の伸びるしくみ」及び、障害発生の機序)	3-(3)
71	178	中右	ケース③の「リスクの例」:脳しんとうなどの頭部外傷 及び、176ページ資料1「起こりやすいスポーツ障害」:脳しんとう	生徒にとって理解し難い表現である。 (176ページ6-10行の記述に照らして)	3-(3)
72	179	上右	足首の前側を伸ばすストレッチング(つま先を伸ばす);足首の後ろ側を伸ばすストレッチング	生徒にとって理解し難い表現である。 (足首の内反・外反捻挫を予防するための方策として)	3-(3)
73	179	下右	大殿筋を伸ばすストレッチング(膝の障害予防);ももの横の筋肉を伸ばすストレッチング(膝の障害予防)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「膝をひねったとき」のけがを予防するための方策として)	3-(3)
74	180		健康づくりのために運動を実践してみよう(全体)	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)
75	180	中左	「自分の感じた運動強度」 及び、中左表「主観的運動強度」;中「主観的な運動強度」;資料1「主観的運動強度」	表記が不統一である。	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 9 枚目

受理番号 102-212		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
76	180	中	一定期間、ジョギングを継続しておこなう前と後で主観的な運動強度を比較してもよいでしょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (運動実践の効果／体力の変化を捉えるための方法として)	3-(3)
77	190	資料1	おもなスポーツ推進の歩み：ヨーロッパ・みんなのスポーツ憲章▼及び、192ページ上左「ヨーロッパ・みんなのスポーツ憲章▼」；199ページ右「みんなのスポーツ」	表記が不統一である。	3-(4)
78	191	資料2	トップスポーツと地域スポーツの好循環によるスポーツ推進（タイトル）	生徒にとって理解し難い表現である。 (資料の内容、及び対応する本文との関係)	3-(3)
79	194	12 - 13	日本人の平均寿命は女性87.32歳，男性81.25歳であり，日本は明らかに超高齢社会となっています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (超高齢社会は平均寿命によって決まるものと誤解)	3-(3)
80	195	コラム	もう1つのスポーツライフ（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 (「スポーツライフ」の意味及び用法)	3-(3)
81	196	中左	【古代オリンピック】古代ギリシャの哲学者プラトンは，このパンクラチオンを青少年の教育にもっとも有効だとして推奨した。	不正確である。	3-(1)
82	199	上右	▼スポーツ基本法：その前文では，「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは，すべての人々の権利」であるとし	誤記である。 (すべて)	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 1 枚目

受理番号 102-213		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	3	目次	地域や時代で変化する感染症・・・24	誤りである。 (24ページと異なる)	3-(1)
2	6	上右	第2章のまとめ……189	誤りである。 (ページ)	3-(1)
3	12	10 - 11	糖尿病の受療率⑤は40歳以上で10人に1人	不正確である。	3-(1)
4	27	下囲み	予防接種の役割（全体）	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)
5	33	9 - 11	生活習慣病の予防と回復のためには、個人の取り組みとともに、それを支える社会環境を整備する必要がある図2。及び 同ページ図2 生活習慣病の一次・二次・三次予防（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文と図2の対応関係について)	3-(3)
6	33	図2	糖尿病の合併症：人工透析	不正確である。	3-(1)
7	34	図1	心臓・血管：心臓や血管も筋肉でできていて、運動することで心臓や血管の機能が保たれる	生徒にとって理解し難い表現である。 (「心臓や血管も筋肉でできていて」)	3-(3)
8	49	図2	出典名：2019	不正確である。 (年号)	3-(1)
9	64	側注②	ブレーキをかけてから停止するまでの距離。	誤りである。 (制動距離の説明として)	3-(1)
10	68 - 69	全体	風水害を想定したタイムラインを作成しよう	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 2 枚目

受理番号 102-213		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
11	71	15 - 17	そのため、どのような症状やけがであればすぐに救急車を呼び、病院に急いで行くべきかを判断できる知識(⇒p. 69)をもつことが重要である⑦。	誤りである。 (参照ページ)	3-(1)
12	72	2 - 4	「1. 心肺蘇生法とは 心臓や呼吸が止まった人の命を守るためには・・・胸骨圧迫、気道確保、人工呼吸といった心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の使用が必要である。」	相互に矛盾している。 (75ページ図4：「心肺蘇生とAEDの手順を繰り返す」に照らして)	3-(1)
			他 70ページ5行目「心肺蘇生法やAEDの使用」		
13	74	図2	説明文①：「救助者は・・・一方の手の付け根（手掌基部）を胸の真ん中に置き、もう一方の手を重ねる。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (手についてイラストと異なる)	3-(3)
14	122	1	「1. 食品の安全性を確保する行政・生産・製造者の役割」 他 5ページ目次「1. 食品の安全性を確保する行政・生産・製造者の役割・・・122」	表記が不統一である。 (122ページ脚注：「行政、生産・製造者、消費者はどのような役割を担っているのか」に照らして)	3-(4)
15	123	側注⑤	「危害分析重要管理点」 他 142ページ【HACCP】：「危害分析重要管理点」	不正確である。	3-(1)
16	125	図2	健康食品 5つの問題：「一時的に体調が悪くなるような症状を「好転反応」というが、健康食品で・・・認められていない。」	不正確である。 (原典の表現に照らして)	3-(1)
17	141	左列	不安症：「不安症には・・・心的外傷後ストレス症（PTSD）も含まれる。・・・心的外傷後ストレス症は・・・症状である。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (ICD-10に照らして)	3-(3)
18	142	左列	食中毒 p. 121	誤りである。 (参照ページ)	3-(1)
19	142	右列	サリドマイド薬害：「1962年頃、安全な睡眠薬として開発・販売されたサリドマイド」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (1962年頃に開発・販売されたかのように)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 3 枚目

受理番号 102-213		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
20	145	9 - 10	フェアプレイやスポーツマンシップといった精神及び、207ページ下左「フェアプレイの精神とスポーツマンシップ」	表記が不統一である。	3-(4)
21	151	図1	有森裕子氏：1988年のオリンピック・ソウル大会女子マラソンで金メダルを獲得したロザ・モタは、自らは脱落しながらも、ライバルの有森を笑顔で励まし、そのおかげで有森は1991年の世	生徒にとって理解し難い表現である。 (ロザ・モタが脱落し、有森を励ましたのはいつ、どの場面か)	3-(3)
			界陸上選手権女子マラソンで4位入賞ができた」と述懐している。		
22	153	12 - 14	障害者の治療・リハビリテーションから開始したパラリンピックであったが、現在では、パラ・アスリートとして、オリンピックと同じ競技者として活躍できる場となっている。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
23	153	19 - 20	2020年、東京でパラリンピック競技大会が開催される。 及び、側注④2020年の東京大会では…開催されたことになる。 及び、152ページ側注①2020年東京大	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (開催年について誤解)	3-(3)
			会 及び、200ページ2-3行「2020年に東京で、オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される。」；表1「主なスポーツ推進の歩み」：2020 オリン		
			ピック・パラリンピック東京大会の開催（予定）		
24	154		時代とともに変貌するオリンピック（全体） 及び、155ページ：パラリンピックの課題（全体）	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)
25	155	表1	※3 …日常的な地域活動では、健常者が同一チームに混ざり合う形で球技を行うシステムを設定している。	不正確である。 (「日常的な地域活動」と「球技」)	3-(1)
26	157	表1	2003年：フライングによる失格を1人ではなく全体の2回目に厳格化※（陸上競技） 及び、表1下：※現在は一発失格	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 4 枚目

受理番号 102-213		学校 高等学校		教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
27	159	9 － 10	第2期「スポーツ基本計画」においては、「スポーツが価値ある高潔な状態」を保つことが政策目標として掲げられた。	不正確である。 （第2期スポーツ基本計画」の文言として）	3-(1)	
28	161	表1	8：競技者に対して競技外で禁止されている禁止物質もしくは禁止方法を投与すること	誤記である。 （競技外）	3-(2)	
29	163	11 － 12	持続可能性とは、人間が関与する活動に対し、生態系などが持続して発展できる状態のことを意味する。 及び、側注⑤（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （生態系が発展するとは）	3-(3)	
30	167	囲み	この水着は、水を含みにくい素材でつくられており、…国際水泳連盟は2010年より水着の素材は布地のみとルールを変更し、レーザーレーザーの着用を禁止した。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「素材は布地のみ」とのルール変更で、なぜレーザーレーザーは禁止されるのか）	3-(3)	
31	170	4	体を環境に適応させるための生存力	生徒にとって理解し難い表現である。 （「適応」の語、及び側注①との関係）	3-(3)	
32	176 － 177	1 － 6	1 動きの開始と持続（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明が無い：筋細胞内に貯蔵されているクレアチンリン酸やグリコーゲン、遊離脂肪酸等）	3-(3)	
33	176	6 － 7	細胞呼吸によって合成されるATP（アデノシン三リン酸） 及び、側注③「ATP合成」；図1「ATP生成」；177ページ2行「ATPを持続的に生成」	表記が不統一である。 （「合成」と「生成」）	3-(4)	
34	176 － 177	15 － 1	グルコース（ブドウ糖）や脂肪（遊離脂肪酸），乳酸 及び、図1「脂肪」	不正確である。 （脂肪）	3-(1)	
35	177	側注⑪	同様に、よい動きは、よい知覚をもたらす。よい知覚を身につけるには、能動的に動くことが必要になる。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
36	180	側注④	筋力は筋肉の断面積に比例する。	不正確である。 （176ページ5-6行の「筋収縮によって発揮される力を筋力という」に照らして）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 5 枚目

受理番号 102-213		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
37	180 - 181	11 - 6	2 体力トレーニングの効果的な進め方（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （本文と図1の内容とが対応していない）	3-(3)
38	181	表1	トレーニングの強度（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （タイトルと内容の整合性，効果としての「筋持久力」「基礎筋力」，キャプションの「軽度＋高速度反復」）	3-(3)
39	183	側注⑬	筋力発揮や速度の強弱などを調整し	生徒にとって理解し難い表現である。 （速度の強弱）	3-(3)
40	184		体力トレーニングの効果の評価（全体） 及び，185ページ：健康づくりのためのエクササイズ（全体）	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)
41	185	7	「自分の感じた運動強度」 及び，中「主観的運動強度」； 12行「主観的な運動強度」；図1「主観的運動強度」	表記が不統一である。	3-(4)
42	185	12 - 13	一定期間，ジョギングを継続して行う 前と後で主観的な運動強度を比較してもよい。	生徒にとって理解し難い表現である。 （運動実践の効果／体力の変化を捉えるための方法として）	3-(3)
43	186	表1	起こりやすいスポーツ障害（種目別）： 脳しんとう 及び，188ページ24-30行「3. 脳しんとう」（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （186ページ6-10行の記述に照らして）	3-(3)
44	186	11 - 13	環境条件に潜む危険 運動・スポーツが行われる際の気象条件…にも注意を払い、けがや事故の危険を想定しておく必要がある[表2]。 及び，表2 主として環境条件などが要	表記が不統一である。 （「環境条件」と「気象条件」）	3-(4)
			因となって起こるけがや事故		
45	187	側注⑥	体の可動域	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 6 枚目

受理番号 102-213		学校 高等学校	教科 保健体育	種目 保健体育	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
46	187	図3	「上肢」「下肢」	不正確である。	3-(1)
47	188 - 189		スポーツ外傷・障害の実際（全体）	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)
48	188	図2	「損傷」（2か所）の位置	生徒にとって理解し難い図である。 （引き込み線の先端が「損傷箇所」を指しているか。）	3-(3)
49	189	16	筋肉強化	不正確である。	3-(1)
50	193	側注⑤	「多くの運動を経験する時期」	誤記である。	3-(2)
51	198	2	「スポーツボランティア」とは、自発的に、無償でスポーツを支える人のことである。	不正確である。 （無償で）	3-(1)
52	202	図2	生涯競走	誤記である。 （原語はCompetitive for Life）	3-(2)
53	204	11 - 12	日本人の平均寿命は女性87.32歳、男性81.25歳であり、日本は明らかに超高齢社会となっている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （超高齢社会は平均寿命によって決まるものと誤解）	3-(3)
54	205	側注⑥	「スポーツ宣言日本」からの引用。p.200「スポーツ推進のための施策と課題」参照。	生徒にとって理解し難い表現である。 （参照先に「スポーツ宣言日本」への言及は無い。）	3-(3)
55	205	12	スポーツによる暮らし及び、21行「スポーツによる暮らし」；204ページ脚注「スポーツによる暮らし」	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

7 枚中 7 枚目

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。